

令和8年産水稻の出穂状況について（7月27日現在）

1 出穂状況（概況及び今後の管理）

- 7月27日現在、水稻作付面積の10.9%の水田が出穂期^{※1}を迎えている。県全体の出穂始期^{※2}は7月26日で平年より2日早い。
- 出穂前後の期間は高温が続くと予想されていることに加え、稲が最も水を必要とする時期であるため、限られた用水で土壌を湿った状態に保つ「飽水管理^{※3}」を徹底する。
- 斑点米カメムシ類の発生量が平年より多いと予測されている。防除時期が遅れないよう出穂状況を確認し、「穂揃期^{※4}」と「その7～10日後」の2回防除を基本として薬剤防除を実施する。ほ場内に雑草が残っている場合は、1回目の散布時期を「出穂始～穂揃期」に早めると効果が高まる。

※1 出穂期（しゅっすいき）：ほ場内の50%以上が出穂に達した時期

※2 県全体の出穂始期（しゅっすいしき）：水稻作付面積の5%以上が出穂期に達した時期

※3 飽水管理（ほうすいかんり）：水田にある足跡に水が溜まる程度に土を湿潤状態に保つ水管理方法。必要とする水の量が少なく、出穂後高温による玄米の品質低下を抑制する効果がある。

※4 穂揃期（ほそろいき）：ほ場内の95%以上が出穂に達した時期

2 具体的データ（1）出穂時期の比較

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
本年	7月26日	未	未
平年	7月28日	8月1日	8月9日
平年差	2日早い	-	-
(参考) 前年	7月25日	7月30日	8月6日

※平年値は平成28～令和7年の10ヶ年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8ヶ年の平均値。

（2）地区・地帯別の出穂状況

①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付面積(ha) [注]	7月27日現在出穂状況			出穂(月日)			(参考) 平年値		
		出穂面積(ha)	進行率(%)		出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期
大河原	6,628	589	8.9		7/27	未	未	7/26	7/30	8/9
仙台	12,012	2,532	21.1		7/25	未	未	7/27	7/31	8/7
大崎	18,715	2,846	15.2		7/26	未	未	7/28	7/31	8/8
栗原	9,694	702	7.2		7/24	未	未	7/28	8/1	8/11
登米	10,307	317	3.1		未	未	未	7/29	8/1	8/7
石巻	7,100	122	1.7		未	未	未	7/28	8/1	8/9
気仙沼	640	4	0.6		未	未	未	7/31	8/4	8/10
県計	65,096	7,111	10.9		7/26	未	未	7/28	8/1	8/9

[注]作付見込面積は令和7年産の水田における作付状況(令和7年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、進行率がそれぞれ5%、50%、95%に達した時期をいう。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

※平年値は平成28～令和7年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値。

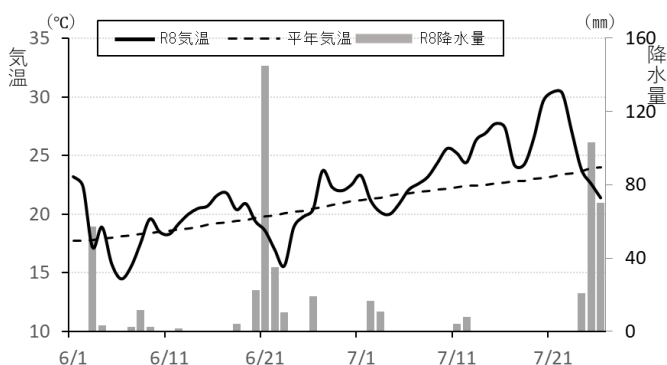
②地帯区分別

地帯区分	水稻作付面積(ha) [注]	7月27日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	941	55	5.8
西部丘陵	5,332	804	15.1
北部平坦	43,627	5,471	12.5
南部平坦	5,445	543	10.0
三陸沿岸	1,278	16	1.3
仙台湾沿岸	8,475	223	2.6
県計	65,096	7,111	10.9

[注]作付見込面積は令和7年産の水田における作付状況(令和7年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

参考：気象経過（仙台アメダス）



時 期		平均気温(℃)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
			平年差		平年比		平年比
6月		19.6	0.4	314.5	219%	171.3	119%
7月	上旬	22.4	0.6	28.0	45%	51.0	134%
	中旬	26.2	3.5	12.5	19%	46.8	123%
	7/21-27	25.3	1.6	195.0	596%	23.5	77%

※次回は8月3日現在の出穂状況を
8月4日に発表予定です。